

## 第3回 魚津市立東部中学校運営協議会記録

- 1 日時 令和8年2月17日（火）15：00～16：30
- 2 場所 東部中学校会議室
- 3 協議
  - （1）開会 会長挨拶
  - （2）学校長挨拶
  - （3）協議
    - ・今年度の学校運営協議会実施報告
    - ・報告についての協議
    - ・学校評価に基づく成果と課題
    - ・課題についての協議
    - ・次年度の方向性について
  - （4）その他
  - （5）閉会 委員代表挨拶

## 学校運営協議会の意見から

- ・3年生の総合的な学習の発表（「明日の魚津を考える」の学年発表）を参観させてもらった。中学生らしいユニークな発想もあれば、大人と同じような考えもあり、大変楽しく聞かせてもらった。生徒たちは生徒たちなりに、いろいろと考えていると感心した。
- ・1年生で実施した、地域の事業所の方を講師に招いてのキャリア教育は、非常によい取組である。キャリア教育を充実させ、生徒が将来の自分を考えるきっかけとしたり、世の中で生きていくことができるような経験を積んだりすることが大切である。また、このような取組が、地域に根付く人材の育成にもつながると考えられる。
- ・生徒の携帯電話については、保護者の中でも困っている様子が見られる。
- ・今年度も、家庭科の授業（裁縫）への支援を行った。約40時間もの支援をしたボランティアもいる。生徒とのコミュニケーションも上手にとり、本人も楽しみながら活動している。しかし、地域には裁縫やミシンを教えられる人が少ないこともあり、現在学校に支援に来ているボランティア以外の人材を探すことができていない。今の中学生にとって、裁縫をしっかりと学ぶことは本当に必要なかと思うこともある。
- ・部活動が地域展開されているが、子供の数、加入者の数の減少により、活動が成立しづらい競技もある。小中高一体の活動等を考える必要がある。
- ・地域の活動に参加する子供が減っている。高齢者しか集まらなくなっている状況である。ぜひ、中学生にも参加してほしい。
- ・学校には、今後も地域に積極的に声をかけてもらいたい。地域も門戸を広げていきたい。大変なこともあるが、いろいろな形で協力できるようにし、生徒と接する機会を増やしたい。
- ・東部中学校の生徒には、挨拶ができるという印象が強くある。地域と学校が一緒になって、生徒のよりよい育成に努めたい。

## 次年度の方向性について

- ・部活動については、学校での活動時間を短くしていく。物足りなさを感じる生徒、保護者もいるとは思いますが、学校での活動をよいきっかけとし、意欲のある生徒は地域での活動へ、とつなげていきたい。
- ・目指す生徒像を「共に輝く笑顔あふれる学校」とする。具体的には「あいさつ運動」「授業改善」「働き方改革」「地域人材の積極的な活用」を推進していく。個々ではなく、「みんなのために」「人のために」と思える生徒の育成を目指したい。